

第2回小委員会での指摘事項反映表【第1章】

※この他、1章・2章に委員会にて紹介があった団体の具体的な活動事例を挿入

修正箇所	指摘事項	修正内容
・はじめに ・P 3	・一般の人が読んで分かるよう、支援指針の概要の記載が必要 ・その際、指針の概要についてもう少し詳しく掲載する	・「はじめに」を簡略化し、1章に「1」を新設して指針の概要を記載 ・併せて「指針について」囲み記事を掲載（1章1 及び5）
P 6 2（4）ア	「コミュニティ」の言葉の使い方が分かりにくい	2（4）のなかで用語を統一し、自治基本条例に基づく「コミュニティ」について脚注を入れる
P 7 2（4）イ	コミュニティカフェを民設民営の活動拠点としても記載してはどうか	3（4）イに同趣旨の新たな文章を追記
P 7 3（2）	NPO法の意義について、公益性かもしれないものへの市民の挑戦や、これまでの省庁による公益性の判断への反省等についても言及したい	3（3）に同趣旨の新たな文章を追記
P 8	自治基本条例の「市民」の定義（住民だけでなく、在勤・活動している人、団体、事業者なども含まれる）を明確にしておくべき	囲み記事として挿入
P 9 4（1）	原案3 の位置がすっきり収まらない。「市民間の連携・協働」についての記述も入れてはどうか	（原案3）4（1）に市民間の協働についての記述を追記
P 9 4（1）	協働型事業のルールについて少しふれてはどうか	4（1）に協働型事業のルールについて新規に追記
P 1 7	指定管理者として活動している NPO 法人の具体的事例について入れたほうが分かりやすい	第1章最後に囲み記事を挿入

第2回小委員会での指摘事項反映表【第2章】

修正箇所	指摘事項	修正内容
2章全般	各項目に2行ほどのリード文を入れ、読み物として分かりやすくする	そのように対応
P20 3(2)	3(2) 学生などの連携によるハンズオン支援→大学などの連携を含めたハンズオン支援へ修正提案	修正
P21 4(1)	4(1) インキュベーションの意味について説明が必要、また表現も修正する	インキュベーションについて脚注に追記
P20 4(1)	4(1) 市民活動センターのブースに関する記述が説明不足	賃料やスペースなどの多様性を求める記述を追加
P24 7(2)	7(2) ③市民ファンドだけでなく、企業によるファンドについてもぜひ言及したい	企業によるファンドについての検討を追記
P25 8	8 行政の役割及び体制の記載が薄いので事務局で補足してほしい	(1)、(2) それぞれに第2回小委員会での意見を追記

第2回小委員会での指摘事項反映表【第3章】

修正箇所	指摘事項	修正内容
3章全般	提案・提案部分が分かりにくい（●と・の違い）	各項目の提案部分をかこみで記載し、提言と分かるよう変更
P 3 1 2 (1)	第3章に企業市民やSB/CBに関する記載が一切ないのはおかしい	2 (1) に追記
P 3 1 2 (2)	多様な主体間の協働（マルチステークホルダープロセス）まで踏み込んだ論が立てられていない。少なくともそのような現状を示せば、協働が変わってきていることを示せる	2 (2) 及び提言部分に多様な主体について追記
P 3 3 2 (3) ウ	2 (3) ウ 寄附に関する記述では、市民ファンドだけではなく企業による出捐についても（2章で追記したことから）反映させる	<ul style="list-style-type: none"> ・ウのタイトルを変更 ・提言部分に追記

市民活動支援指針改訂検討委員会 報告書案 追加修正意見 メモ

全体

- ・「多様な」「様々な」という言葉が多い
- ・区社協を代表するような社会福祉協議会、国際交流協会、生涯学習財団、すくらむ21などの分野別の中間支援機関との関係を深く掘り下げる必要があった

主な修正箇所及び意見	
P 4	2 (1) の文章が長く分かりにくい、また記載内容が不正確
P 4	ワーカーズ・コレクティブくるみ 30年→15年へ修正
P 4	2 (2) NPO法人に準じる団体の意味が不明。 公益財団法人→公益法人でよいのでは
P 6	2 (4) ア 「地域単位」に応じた活動 の表現 (当初案 「区域」に応じた)
P 7	3 (1) から (3) まで時系列順に並び替えをしてはどうか
P 15	図1-3 グラフ項目が途中で切れている
P 20	3 (2)、4 (1) 市民活動センターの事業内容について文言を修正
P 28	1 (2) ア ICTの用語に脚注が必要
P 32	2 (3) ア 中間支援組織として事例を挙げる団体を他にも記載する